TOSHIBA
Leading Innovation >>>

スターター形はんだレス端子
東芝蛍光灯安定器取扱説明書

保管用
001DA13A

対象器種	器具内用安定器		
安定器末尾記号は A：50Hz専用 B：60Hz専用 を示します。	FBC-15168RA, B	FBC-20186RA, B	FBC-30172RA, B

このたびは東芝蛍光灯安定器をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めの安定器を正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

お客様へ
- **この安定器の取り付け工事は、必ず電気工事店に依頼してください。**
- **一般の方の工事は、法律で禁じられております。**

工事店様へ
- **工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。**

■安全上の注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

⚠ 警告
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、“使用者が死亡又は重傷を負う可能性があること”を示します。

- 安定器の二次側を器具に接続しないままで放置しないでください。施工途中でやむ終えず二次側を結線しない場合、電線を切断したままで、一括して絶縁処理をしないで、電線を1本1本に分けて確実に絶縁処理をしてください。一括して絶縁をしますと電線切断面で放電が起こり、電線が焼損し火災の原因となります。
- 安定器の構造を変更したり、ケースを開けたりしないでください。故障の原因となるばかりでなく、感電、発煙、発火等危険が生じる原因となります。
- 電線を接続する場合、ゆるみ、抜けのないように確実に接続してください。なお、速結端子を有する安定器の接続をする場合、次のことを守ってください。
  - （1）電線は、指定の電線を使用してください。
  - （2）電線の被覆は、指定された皮むき方法（うら面参照）にむいてください。
  - （3）電線を1本づつ奥まで確実に差し込んでください。
  - （4）連結端子は、リード線を解除できない構造になっています。一度リード線を抜いた安定器を使用すると、端子の焼損等の危険があります。

- 電線、あるいは絶縁処理部に刃物等による傷をつけないようにしてください。傷が付いた状態で使用されますと、絶縁破壊により漏電、感電、火災等の原因となります。
- 振動や衝撃のある場所で使用する場合は、金属疲労やネジの緩みによる落下を防止する対策を施してください。対策を施さないで使用すると、落下による怪我の原因となります。
- 活線作業をしないでください。活線作業をしますと感電等の原因となります。

⚠ 注意
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、”使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生の可能性があること”を示します。

- この安定器の使用は、**照明器具内**に限られます。器具内以外での使用はしないでください。湿度の高い場所に使用される照明器具には使用できません。
- 安定器には接地工事が必要です。必ずD種(第三種)接地工事を「**電気設備技術基準**」に準じて施工してください。接地工事をしないと感電の原因となることがあります。ただし、**乾燥した場所の器具内に使用する場合に限って**のみ接地工事を省略することができます。

■ご使用上の注意

- 安定器は、設置場所の電源電圧・周波数を確認してから、お取付けください。
- **電源電圧の許容変動範囲**は、安定器の定格電圧の±6%変動範囲でご使用ください。電源電圧が高すぎますと、ランプ・安定器の寿命が短くなります。また、低すぎますと、ランプのチラツキ、不点灯あるいは立ち消え等の不良を招きます。ランプの性能を活かすために、定格電圧でご使用ください。
- **電源周波数**50Hzと60Hzがあります。電源周波数と同じ周波数の安定器をご使用ください。間違えて使用しますと、ランプ寿命が短くなったり故障することがあります。
- 安定器周囲温度は、5℃～35℃の範囲でご使用ください。周囲温度が高い場合や、他の熱源から影響を受ける場合などには、安定器が短寿命となったり、内蔵している保護機能が動作したりしますので、安定器の周囲温度は35℃以下でご使用ください。また周囲温度が35℃以下でも、同様に安定器短寿命の恐れがありますので、次の事項を守ってください。
  - （1）安定器を2台以上並べて設置する場合には、相互の熱影響を受けますので10cm以上間隔をあけて通風に注意してください。
  - （2）安定器を箱の中に収納する場合には、容積を十分大きくとり、かつ換気をして安定器が過熱しないよう注意してください。
  - （3）安定器を光源の上部等に取り付ける場合には、光源の熱の影響を受けますので、熱遮断の仕切をすると共に、十分な間隔をとってください。
  - （4）狭く、周囲に空気の対流がなく熱がこもりやすい場所では、強制換気などをおこなって安定器が過熱しないようご注意ください。

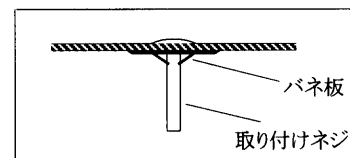
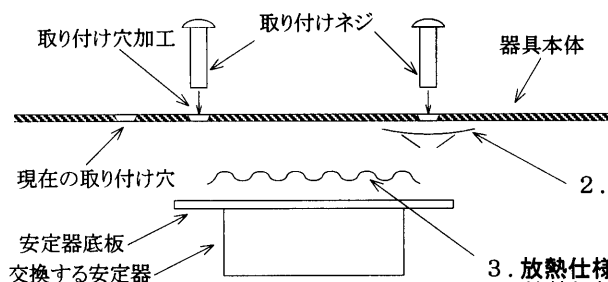
うら面もお読みください。

■安定器の取り付けかた

1 取り付けかた

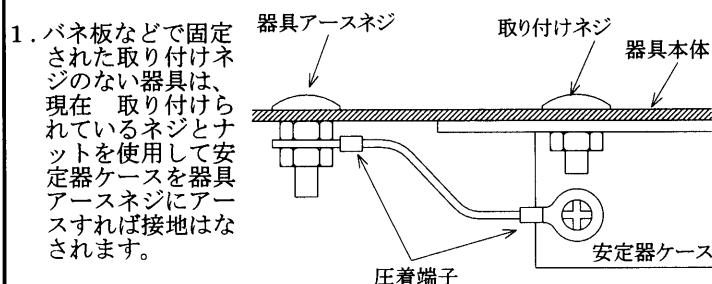
現在取り付けられている安定器をはずし、現在取り付けられているネジとナットを用い同一仕様で確実に取り付けてください。

1．**取り付けピッチが違う場合**
現在取り付けられている安定器と形名、取り付けピッチが異なるときは、器具本体に安定器取り付けピッチに合わせた取り付け用穴をあけてください。

バネ板
取り付けネジ

2．**バネ板**：安定器の取り付けネジがバネ板で器具に固定されているものがある場合そのネジと穴をそのまま使用してください。

3．**放熱仕様**：現在取り付けられている安定器にアルミ放熱板等の放熱仕様がある場合は、その仕様を踏襲してください。

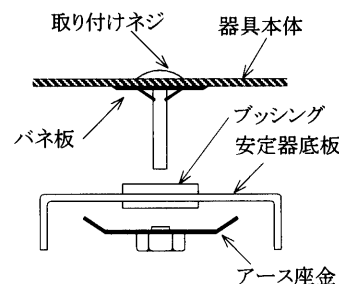
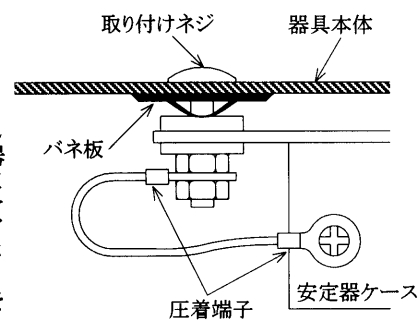
2 器具アースについて

必ずD種（第三種）接地工事を、「電気設備技術基準」に準じて施工してください。
ただし、乾燥した器具内で使用する場合に限ってのみ、接地工事を省略することができます。

1．バネ板などで固定された取り付けネジのない器具は、現在　取り付けられているネジとナットを使用して安定器ケースを器具アースネジにアースすれば接地はなされます。

2．バネ板などで固定された取り付けネジは、器具にアースされていますので安定器ケースをその取り付けネジにアースすれば接地がなされます。
固定ネジ側でアースを取ってください。

取り付けネジ
器具本体
バネ板
安定器ケース
圧着端子

3．安定器ケースと取り付けネジとの接続にアース座金を用いているものがあります。バネ板などで固定された取り付けネジ側に、アース座金を用いていれば接地がなされます。
アース座金については、お問い合わせください。

取り付けネジ
器具本体
バネ板
ブッシング
安定器底板
アース座金

3 速結端子の結線方法

1．器具側のリード線を図のように端末を処理して、付属のリード線を圧着接続してください。
2．結線は、安定器の銘板及び、サービス図面に従って行ってください。付属のリード線(単線)は安定器の端子台に**芯線が見えなくなり先端がつきあたるまで強く押し込んで**ください。

※ 絶縁スリーブは絶縁被覆付き圧着スリーブ（BTB形、電線抱合容量1.25㎜を使用しております。
電線圧着工具は、上記サイズに合致した適正工具（絶縁被覆用）をご使用ください。

⚠ **注意** 一度リード線を抜いた安定器は使用しないでください。

保証について

•保証期間は、**商品お買い上げ日より1年間です。**
但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器(インバータバラスト含む)については３年間です。
•ランプ、点灯管、電池などの消耗品やセード、リモコン送信機は対象外です。
•24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック照明ご相談センター

0120-66-1048 (通話料：無料)
受付時間：365日　9:00～20:00
携帯電話・PHSなど 046-862-2772 (通話料：有料)
FAX 0570-000-661 (通信料：有料)

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

東芝ライテック株式会社　照明器具事業部　〒237-8510 神奈川県横須賀市船越町1-201-1　TEL (046) 862-2092 FAX (046) 861-8796

お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。

001DA13A